

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2004-90619(P2004-90619A)

【公開日】平成16年3月25日(2004.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2004-012

【出願番号】特願2003-174780(P2003-174780)

【国際特許分類】

<b>B 4 1 J</b>	<b>3/54</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 4 1 M</b>	<b>5/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 3 G</b>	<b>15/20</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 3 G</b>	<b>15/22</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 4 1 J</b>	<b>2/01</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

B 4 1 J	3/54	
B 4 1 M	5/00	A
B 4 1 M	5/00	E
G 0 3 G	15/20	1 0 1
G 0 3 G	15/20	1 1 1
G 0 3 G	15/22	1 0 3 Z
B 4 1 J	3/04	1 0 1 Z
B 4 1 J	3/04	1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】被記録媒体に画像を形成する画像形成方法において、溶融性粉体トナーを被記録媒体に付与しトナー画像を形成する工程(1)と、色材を含有する液体インクを被記録媒体に付与しインク画像を形成する工程(2)と、(1)の工程と(2)の工程とを経て形成された画像を熱定着する工程(3)と、を順次行い、さらに前記工程(1)と(2)との間にトナー画像を半定着する工程を行うことを特徴とする画像形成方法。

【請求項2】前記半定着工程は、加圧定着であることを特徴とする請求項1記載の画像形成方法。

【請求項3】前記溶融性粉体トナーは、ブラック着色剤を含有することを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成方法。

【請求項4】前記液体インクは、少なくともイエロー、マゼンタ及びシアンの3色のインクから構成されることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の画像形成方法。

【請求項5】前記液体インクは、少なくとも色材と非水溶媒とを含むことを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の画像形成方法。

【請求項6】前記インク付与工程(2)において、インクジェット記録方法によって液体インクを被記録媒体に付与することを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の画像形成方法。

【請求項 7】 溶融性粉体トナーを被記録媒体に付与しトナー画像を形成する手段(1)と、液体インクを被記録媒体に付与しインク画像を形成する手段(2)と、(1)の工程と(2)の工程とを経て形成された画像を熱定着する手段(3)とを具備し、さらに前記手段(1)と(2)との間にトナー画像を半定着する手段を具備することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 8】 前記半定着手段は、加圧定着であることを特徴とする請求項7記載の画像形成装置。

【請求項 9】 前記インク付与手段(2)において、インクジェット記録方法によつて液体インクを被記録媒体に付与することを特徴とする請求項7または8に記載の画像形成装置。